



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL <http://www.amuse.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	23,859	△22.0	2,389	△53.6	2,207	△57.3	1,211	△63.6
28年3月期第2四半期	30,579	45.1	5,147	100.1	5,176	95.0	3,325	99.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,059百万円 (△69.3%) 28年3月期第2四半期 3,445百万円 (101.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	70.18	—
28年3月期第2四半期	192.66	—

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	36,716	24,833	62.2
28年3月期	35,848	24,223	62.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 22,828百万円 28年3月期 22,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
29年3月期	—	12.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 特別配当 20円00銭

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,100	△9.9	3,900	△34.8	3,970	△32.2	2,400	△32.3	139.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	18,623,520株	28年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,363,000株	28年3月期	1,362,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	17,260,530株	28年3月期2Q	17,261,962株

(注) 1. 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

2. 平成29年3月期第2四半期の期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式150,000株及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式150,000株が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料の発表日現在において、平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成28年11月18日（金）に機関投資家・アナリスト向け第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第2四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	30,579	23,859	△6,720	△22.0
営業利益	5,147	2,389	△2,757	△53.6
経常利益	5,176	2,207	△2,968	△57.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,325	1,211	△2,114	△63.6

〔経済状況〕

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策を背景に雇用や所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調となりましたが、英国のEU離脱問題、中国をはじめ新興国や資源国等の景気下振れ懸念など、依然先行きへの不透明感が継続しております。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入238億5千9百万円（前年同四半期比22.0%減）、営業利益23億8千9百万円（前年同四半期比53.6%減）、経常利益22億7百万円（前年同四半期比57.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億1千1百万円（前年同四半期比63.6%減）となり、主要アーティストが積極的に活動した前年同四半期に比べ、大型コンサートツアーの減少、それに伴うコンサートグッズ販売も減少し減収減益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が減少
- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が減少
上記要因などにより減収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

減収要因により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	26,289	20,361	△5,927	△22.5
メディアビジュアル事業	1,381	609	△772	△55.9
コンテンツ事業	1,292	1,703	410	31.7
プレイスマネジメント事業	1,616	1,184	△431	△26.7
合計	30,579	23,859	△6,720	△22.0

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	5,058	2,796	△2,261	△44.7
メディアビジュアル事業	143	△80	△224	—
コンテンツ事業	498	730	232	46.6
プレイスマネジメント事業	△67	△553	△486	—
調整額	△485	△503	△17	—
合計	5,147	2,389	△2,757	△53.6

【アーティストマネジメント事業】

営業収入203億6千1百万円(前年同四半期比22.5%減)、セグメント利益27億9千6百万円(前年同四半期比44.7%減)となり、減収減益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入: <コンサート>
 - Perfume(5-9月)、SEKAI NO OWARI(4-6月)
 - flumpool(4-6月)のコンサートツアー
 - BABYMETALのウエンブリー公演(4月)・東京ドーム公演(9月)
 - ポルノグラフィティの横浜スタジアムライブ(9月)
 - ONE OK ROCKの野外ライブ(9月)
 - 福山雅治のファンクラブイベント東京ドーム公演(9月)
- <舞台・公演>
 - 熱海五郎一座「ヒミツの仲居と曲者たち」(6月)
 - ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」日本版(7-9月)
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、BABYMETAL(アルバムCD)、ONE OK ROCK(ライブDVD)
- ・ 印税収入(新譜): サザンオールスターズ(ライブDVD)、Perfume(ライブDVD)
- ・ 出演収入・CM収入: 桑田佳祐、福山雅治、大泉洋、佐藤健、DEAN FUJIOKAなど

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートツアー)が減少
(前年同四半期はサザンオールスターズ(4-8月)、ONE OK ROCK(5-9月)のコンサートツアー、SEKAI NO OWARIスタジアムライブ(7月)、福山雅治のスタジアムライブ(8月)、熱海五郎一座(6月)、TEAM NACS(7-9月)などの舞台を実施)
 - ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が減少
(前年同四半期はコンサートグッズ、福山雅治アルバムCD、ONE OK ROCKライブDVDなど)
- 上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入6億9百万円(前年同四半期比55.9%減)、セグメント損失8千万円(前年同四半期は1億4千3百万円のセグメント利益)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入：TEAM NACS舞台「悪童」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入：佐藤健・神木隆之介主演映画「バクマン。」劇場配給分配収入、DVD販売分配収入、深津絵里主演映画「岸辺の旅」劇場配給分配収入、安田顕主演映画「俳優 亀岡拓次」劇場配給分配収入、佐藤健主演映画「世界から猫が消えたなら」劇場配給分配収入

<営業収入>

- ・ 新規大型作品の減少
(前年同四半期は「美女と野獣」のDVD販売収入、劇場配給分配収入、「るろうに剣心 京都大火編／伝説の最期編」の劇場配給分配収入、DVD販売分配収入など)
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入17億3百万円(前年同四半期比31.7%増)、セグメント利益7億3千万円(前年同四半期比46.6%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

原盤印税の増加などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入11億8千4百万円(前年同四半期比26.7%減)、セグメント損失5億5千3百万円(前年同四半期は6千7百万円のセグメント損失)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ MILLIANの入場料収入、会場使用料収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーの入場料収入が低調であったため減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)	増減
総資産 (百万円)	35,848	36,716	868
純資産 (百万円)	24,223	24,833	609
自己資本比率 (%)	62.2	62.2	—
1株当たり純資産 (円)	1,291.93	1,322.57	30.64

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,419	440	△8,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,248	△1,293	955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239	△521	△282

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は367億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億6千8百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動資産「受取手形及び営業未収入金」の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は118億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千8百万円増加いたしました。主な要因としては、流動負債「未払法人税等」の減少はありましたが、流動負債「営業未払金」の増加が上回ったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は248億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9百万円増加いたしました。主な増加要因としては、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は62.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ9億4千8百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には156億4千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4億4千万円(前年同四半期は94億1千9百万円の獲得)となりました。

これは、主に営業債権の増加及び法人税等の支払による資金減少要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億9千3百万円(前年同四半期は22億4千8百万円の使用)となりました。

これは、主に定期預金の預入及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億2千1百万円(前年同四半期は2億3千9百万円の使用)となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間より、雅慕斯娛樂股份有限公司(台湾)、Amuse Hong Kong Limited(香港)及び艾米斯传媒(上海)有限公司(中国)の3社は重要性が増したため、AmuseLantis Europe S.A.S.(フランス)は新規設立したため、㈱FRIENDS、㈱COMITAS、㈱arounds及び㈱TRANSPLUSの4社は新たに株式取得したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,718,958	18,212,697
受取手形及び営業未収入金	4,255,930	6,040,327
商品及び製品	1,523,027	1,785,789
仕掛品	1,526,080	1,517,283
貯蔵品	70,085	78,801
その他	1,453,560	1,363,977
貸倒引当金	△211,203	△225,038
流動資産合計	26,336,438	28,773,838
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,036,707	1,928,645
土地	1,486,752	1,452,484
その他(純額)	940,485	915,252
有形固定資産合計	4,463,945	4,296,382
無形固定資産		
のれん	278,901	591,690
その他	216,165	227,703
無形固定資産合計	495,066	819,394
投資その他の資産		
投資有価証券	1,332,625	896,200
その他	3,187,947	1,923,166
貸倒引当金	△104,900	△104,852
投資その他の資産合計	4,415,672	2,714,514
固定資産合計	9,374,684	7,830,290
繰延資産		
開業費	137,044	112,569
繰延資産合計	137,044	112,569
資産合計	35,848,167	36,716,698

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	6,256,956	8,847,024
未払法人税等	2,299,368	884,304
役員賞与引当金	46,500	—
返品調整引当金	8,000	3,700
ポイント引当金	23,752	12,567
その他	1,957,840	1,085,512
流動負債合計	10,592,418	10,833,108
固定負債		
役員退職慰労引当金	16,308	16,308
退職給付に係る負債	970,581	959,476
その他	44,863	73,808
固定負債合計	1,031,753	1,049,594
負債合計	11,624,171	11,882,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,950	2,109,793
利益剰余金	19,932,496	20,586,874
自己株式	△934,917	△1,320,101
株主資本合計	22,280,353	22,964,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,664	32,145
為替換算調整勘定	△7,446	△168,322
その他の包括利益累計額合計	19,217	△136,177
非支配株主持分	1,924,424	2,005,780
純資産合計	24,223,995	24,833,994
負債純資産合計	35,848,167	36,716,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収入	30,579,942	23,859,292
営業原価	23,289,291	18,656,466
営業総利益	7,290,650	5,202,825
返品調整引当金戻入額	11,600	4,300
差引営業総利益	7,302,250	5,207,125
販売費及び一般管理費	2,154,989	2,817,753
営業利益	5,147,261	2,389,371
営業外収益		
受取利息	5,156	1,339
受取配当金	6,242	5,447
受取手数料	8,237	5,998
持分法による投資利益	77,397	2,060
その他	14,893	25,331
営業外収益合計	111,927	40,176
営業外費用		
為替差損	81,998	170,292
事業組合投資損失	174	37,429
その他	548	13,909
営業外費用合計	82,721	221,631
経常利益	5,176,467	2,207,917
税金等調整前四半期純利益	5,176,467	2,207,917
法人税、住民税及び事業税	1,789,817	841,575
法人税等調整額	△48,770	140,314
法人税等合計	1,741,047	981,890
四半期純利益	3,435,420	1,226,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	109,760	14,744
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,325,659	1,211,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,435,420	1,226,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,905	5,481
為替換算調整勘定	17,190	△172,163
その他の包括利益合計	10,284	△166,682
四半期包括利益	3,445,705	1,059,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,335,944	1,055,888
非支配株主に係る四半期包括利益	109,760	3,456

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,176,467	2,207,917
減価償却費	312,859	362,547
のれん償却額	14,208	89,884
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,502	13,382
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,000	△46,500
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△11,600	△4,300
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15,183	△11,185
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,454	△10,846
受取利息及び受取配当金	△11,398	△6,787
持分法による投資損益(△は益)	△77,397	△2,060
事業組合投資損益(△は益)	174	37,429
営業債権の増減額(△は増加)	△924,200	△1,454,345
たな卸資産の増減額(△は増加)	△666,846	△136,882
営業債務の増減額(△は減少)	5,022,090	2,499,261
未払消費税等の増減額(△は減少)	93,932	△244,168
その他の流動資産の増減額(△は増加)	194,532	66,454
その他の流動負債の増減額(△は減少)	45,636	△641,108
その他	△11,510	△14,235
小計	9,175,083	2,704,458
利息及び配当金の受取額	9,590	2,135
法人税等の支払額	△248,457	△2,266,030
法人税等の還付額	483,757	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,419,973	440,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000,468	△500,002
定期預金の払戻による収入	1,000,000	51,487
有形固定資産の取得による支出	△677,018	△167,269
無形固定資産の取得による支出	△63,958	△74,874
投資有価証券の取得による支出	△340	△79,050
子会社株式の取得による支出	△355,216	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△356,458	△459,352
貸付けによる支出	△1,173	△22,348
貸付金の回収による収入	188,080	21,469
その他	17,584	△63,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,248,967	△1,293,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△150,000
長期借入金の返済による支出	—	△108,630
自己株式の取得による支出	△3,181	△591,039
自己株式の売却による収入	—	590,856
非支配株主からの払込みによる収入	—	131,173
配当金の支払額	△215,026	△347,165
非支配株主への配当金の支払額	△17,262	△38,535
その他	△3,779	△8,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239,248	△521,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,193	△143,282
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,917,564	△1,517,584
現金及び現金同等物の期首残高	11,327,663	16,598,135
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	160,944	569,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,406,172	15,649,643

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	26,289,170	1,381,195	1,292,973	1,616,602	30,579,942	—	30,579,942
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	39,130	107,995	109,359	31,752	288,238	△288,238	—
計	26,328,301	1,489,190	1,402,333	1,648,355	30,868,180	△288,238	30,579,942
セグメント利益 又は損失(△)	5,058,608	143,975	498,207	△67,540	5,633,249	△485,988	5,147,261

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△485,988千円には、セグメント間取引消去5,129千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△491,118千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アーティストマネージメント事業」において、CROONER P.T.E.L.T.D.の株式を取得したことにより
のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は、347,937千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	20,361,925	609,088	1,703,393	1,184,884	23,859,292	—	23,859,292
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	59,567	148,908	203,286	30,659	442,422	△442,422	—
計	20,421,492	757,997	1,906,680	1,215,544	24,301,715	△442,422	23,859,292
セグメント利益 又は損失(△)	2,796,878	△80,157	730,213	△553,646	2,893,288	△503,916	2,389,371

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△503,916千円には、セグメント間取引消去5,363千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△509,279千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。